



第5回新廃棄物処理施設検討委員会を傍聴

16日に新廃棄物処理施設整備【検討委員会の答申概要】

検討委員会が開催。今回の5回目での結論が出て24日、市に答申が提出されます。

ギャラリー側の基本構想「民設民営・公民連携方式」「産廃の受入もして240トン炉の建設を」という方向とは全く違う結論が出ました。

市民の意見や地元の声を受けて、改めて検討委員会に反映したことを多くに評価します。

しかし、
① 民間に長期委託する形で本当にゴミの減量化に取り組む事ができるのか
② 運転開始までにゴミ減量化に取組の開始をしっかりとすすめた場合、もっと炉の規模を小さくした方が将来への持続可能性があるのではないか、
といった疑問も持っています。

今後の一般質問や議会説明などで意見を言い、修正点なども検討し、市としてギャラリーへの方針を出すとともに、大切なゴミの処理を今後どう行なうのか、地元だけでなく市民全体に説明し、前向きに減量化に取り組めるよう政策を示してほしいです。

【検討委員会の答申概要】

(1) 産廃を入れた240トン規模の焼却炉は不適切
(2) 一般廃棄物のみ受け入れの120トン炉の早期完成を

(3) 行政責任の明確化と民間の経営能力を発揮させる公設+長期包括運営委託方式を

(4) 行政内部に技術職を配置、委託企業にはモニタリングを。外部には有識者による評価委員会を設置

(5) 廃プラリサイクル法、カーボンニュートラルの実現にふさわしい廃棄物政策の充実で、市民とともにいっそうの廃棄物減量化に努める

第5回新廃棄物処理施設整備検討委員会の録画・資料はこちら



安倍元首相礼賛の「国葬」に反対

安倍元首相が無法な銃撃で殺害されたことに哀悼の意を表します。

同時に、アメリカ言いなりの軍拡や戦争法=安保法制強行による立憲主義破壊。森友学園・加計学園、桜を見る会などの様々な疑惑…。政治的評価や批判は全く別の問題です。

安倍元首相の政治姿勢を賛美・礼賛する「国葬」には反対です。

日本共産党は100才の

誕生日をむかえました

日本共産党は、7月15日に創立100周年を迎えました。一貫して国民の利益を守り平和、民主主義、自由と平等などを掲げたたかってきました。

戦前、他の政党がすべて解散して「大政翼賛会」に合流し、侵略戦争を進める立場に立つ中、日本共産党は、命をかけて、国民主権と反戦平和の旗を掲げ続けました。多くの先輩が迫害で命を落としていきます。

今また、ロシアのウクライナ侵略に乗じて「大軍拡改憲」を叫ぶ「翼賛政治」の危機が強まっています。今後も日本共産党は、みなさんと力を合わせ、命と暮らし、民主主義を守るためにがんばります。



庭で羽化したアゲハ

コロナの感染拡大

第7波が到来しています。重傷者リスクは下がっているものの、またしても有効な手を打つ事もできず、保健所などにはまた過度な負担がかかっています。

外国のようにPCR検査につなげることもせず、学級閉鎖などが相次ぐのは情けないと思います。

拡大傾向時の一般検査事業が再開しました(~8/31)
※無症状で検査を希望する方は無料検査(抗原定性検査等)が受けられます。(在住を証明する身分証必要)

ウエルシア薬局 葛川店・上西郷店 南山堂薬局 掛川本店(長谷)・横須賀店 杏林堂薬局 花鳥園前店 あい薬局(長谷) まごころ薬局 桜木店・大東店

発熱等の症状がある時はかかりつけ医か発熱外来へ
※医療機関への電話連絡をした上で受診

検査できることを公表している医療機関が市内に30ヶ所あります。

わからない時は発熱等相談センター(050・5371・0561 または 050・5371・0562)に電話するか、県のホームページで確認ください。

